



2019年3月期 第1四半期

決算説明資料

2018年8月10日

株式会社アイ・ピー・エス

証券コード 4390

1 | 2019年3月期 第1四半期 決算概要

2 | Topics

1 | 2019年3月期 第1四半期 決算概要

2019年3月期 第1四半期 決算ハイライト



- ・売上高：海外通信事業及び医療美容事業、国内通信事業が好調に推移し、増収
- ・営業利益：売上が伸長し、上場関連費用（20百万円）を計上するも、大幅増益
- ・経常利益：為替差益の計上があり、大幅増益

(単位：百万円)

	2018年3月期 1 Q	2019年3月期 1 Q	前年同期比	前年同期比率
売上高	1,236	1,387	150	112.2%
営業利益	186	259	72	139.1%
経常利益	180	335	154	185.6%
親会社に帰属する 当期純利益	101	196	94	193.4%

■海外通信事業

	2018/3 1Q	2019/3 1Q	前期比率
売上高	367	396	107.9%
営業利益	124	131	105.3%
利益率	33.9%	33.1%	—

提供容量の拡大に伴い、売上・利益ともに増加。

■フィリピン国内通信事業

	2018/3 1Q	2019/3 1Q	前期比率
売上高	9	55	575.1%
営業利益	▲21	▲7	—
利益率	—	—	—

2018年3月期の先行投資に対し、事業を開始したことで、売上高が増加。

■国内通信事業

	2018/3 1Q	2019/3 1Q	前期比率
売上高	633	683	107.9%
営業利益	47	74	155.4%
利益率	7.5%	10.9%	—

MVNO事業者向けサービスが、大口顧客の事業譲渡により、減少したものの、コールセンターシステムAmeyoJ・秒課金の業績が増加したことで、売上・利益ともに増加。

■在留フィリピン人関連事業

	2018/3 1Q	2019/3 1Q	前期比率
売上高	91	74	81.3%
営業利益	▲3	▲6	—
利益率	—	—	—

人材紹介・派遣事業が、厳しい採用環境の影響を受けております。

■ 医療・美容事業

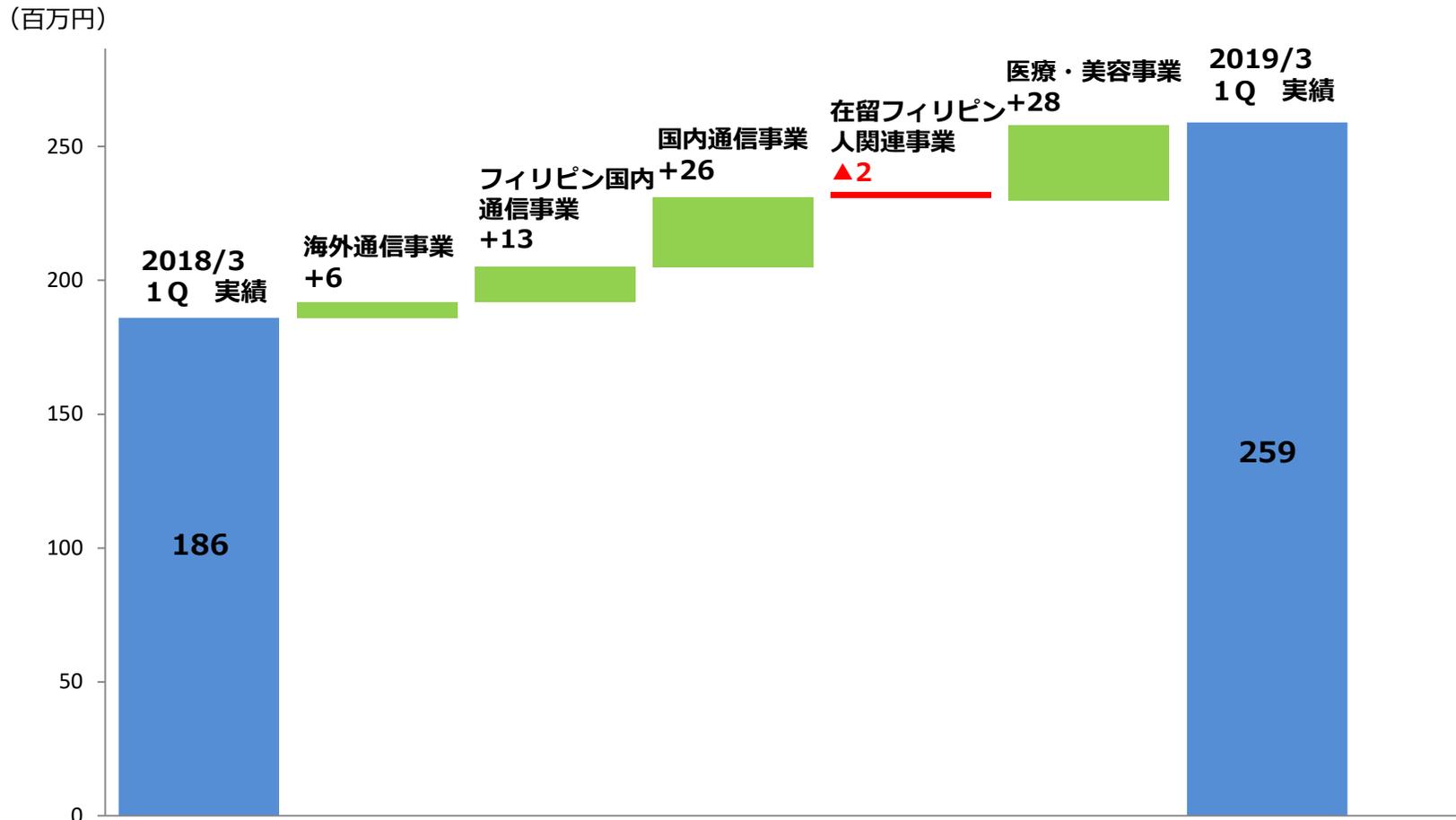
	2018/3	1Q	2019/3	1Q	前期比率
売上高	134		177		131.8%
営業利益	38		66		173.5%
利益率	28.6%		37.7%		—

レーシック施術が好調に推移し、売上・利益ともに順調に増加。白内障治療の開始も加え、引き続き増加傾向。

※注記

「フィリピン国内通信事業」を新たな報告セグメントといたしましたので、比較のため、セグメント間の組替えを行っております。

2019年3月期 第1四半期 営業利益増減（前年同期比）

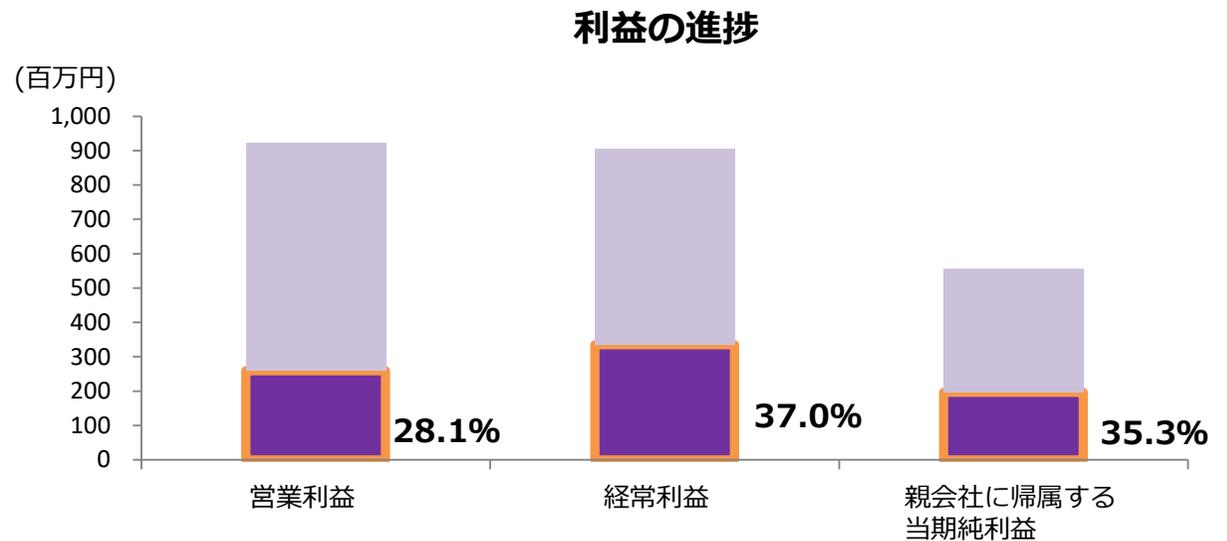
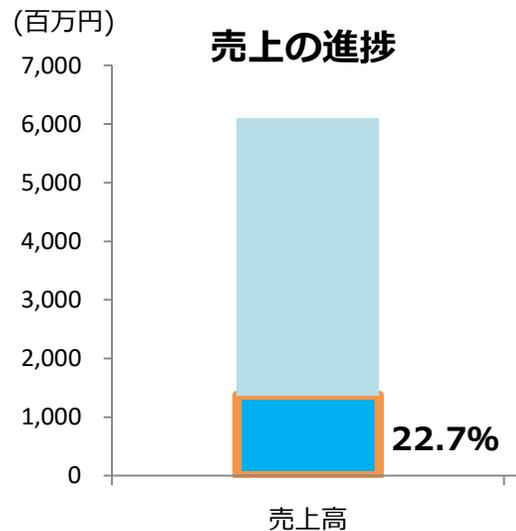


2019年3月期 第1四半期 業績予想



(単位：百万円)

	2019/3 1Q 実績	2019/3 通期業績予想	進 捗 率
売 上 高	1,387	6,107	22.7%
営 業 利 益	259	921	28.1%
経 常 利 益	335	906	37.0%
親 会 社 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	196	555	35.3%



連結貸借対照表

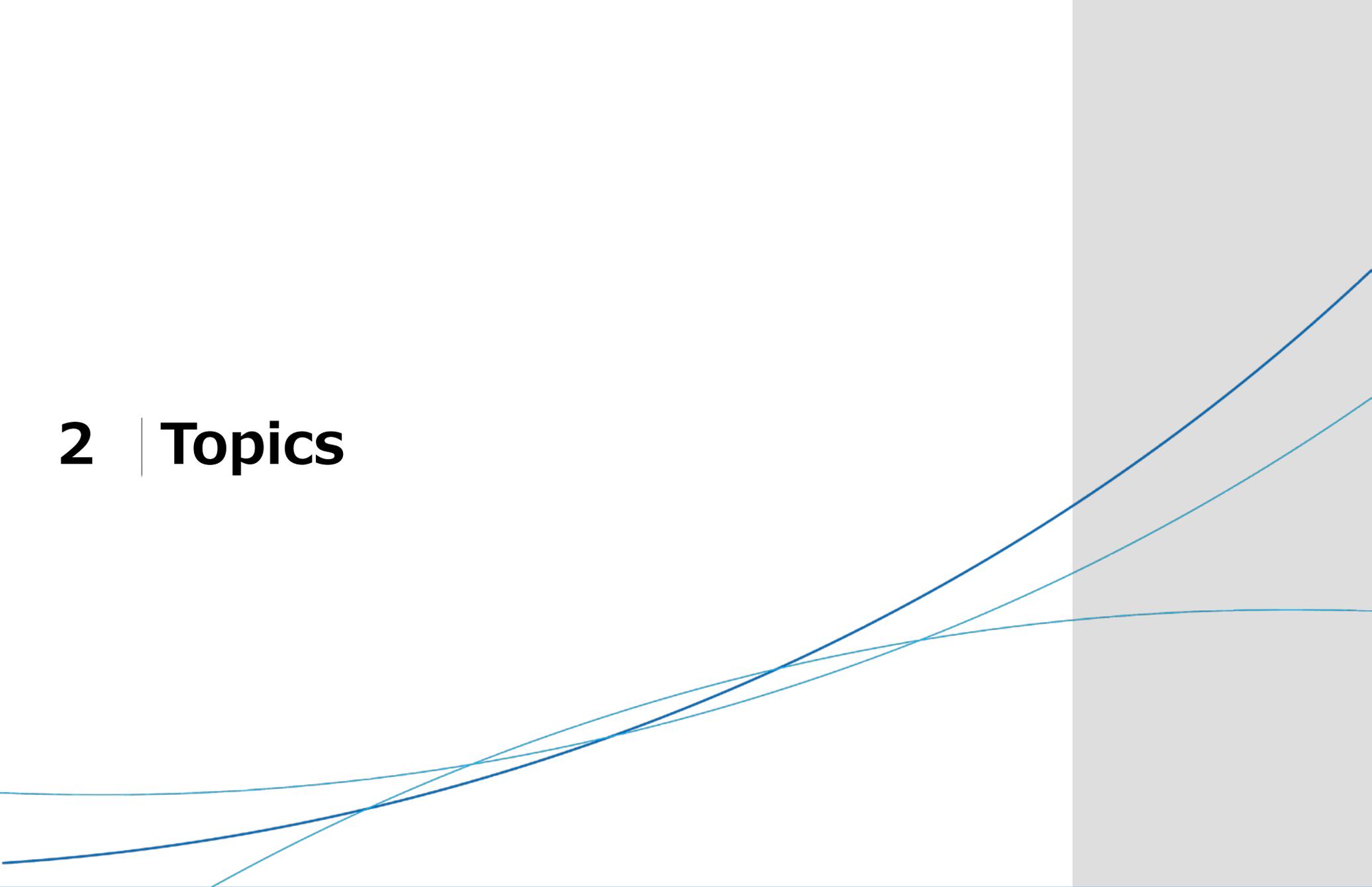
(単位：百万円)

資産の部				負債・純資産の部			
	2018年3月期末	2019年3月期1Q	増減		2018年3月期末	2019年3月期1Q	増減
流動資産	2,936	4,145	1,208	流動負債	1,827	1,818	△ 9
現金及び預金	1,410	2,512	1,101	買掛金	410	318	△ 91
売掛金	614	828	213	借入金・社債	387	625	237
リース投資資産	608	524	△ 84	その他	1,030	875	△ 155
その他	302	281	△ 21	固定負債	982	885	△ 97
				負債合計	2,810	2,704	△ 106
固定資産	1,308	1,243	△ 65				
有形固定資産	714	666	△ 48	純資産	1,435	2,685	1,249
無形固定資産	108	92	△ 15	株主資本	1,236	2,580	1,344
投資その他資産	485	484	△ 1	累積包括利益	19	△ 78	△ 98
				非支配株主持分	179	183	3
資産合計	4,245	5,389	1,143	負債・純資産合計	4,245	5,389	1,143

注記

1. 現金及び預金の増加は、東京証券取引所マザーズ市場上場時の公募資金増資による。
2. 借入金・社債の増加は、納税資金調達のための短期銀行借入の増加による。

2 | Topics



InfiniVAN社が、マニラ首都圏地域での回線敷設工事を開始

InfiniVAN社が、マニラ首都圏地域で展開中の法人向けインターネット接続サービスの提供地域を拡大するため、これまで関係各所に回線敷設工事の許可取得の手続きを行ってまいりました。

このたび必要な手続きが終了し、2018年7月より光ファイバー網の敷設工事を、マカティ市に次ぐ大規模ビジネス地域であるオルティガス地域にて開始いたしました。今後許可が揃い次第マカティ市でも回線敷設を行う予定です。



マニラ国際空港でのWifiサービス提供に向けた 業務提携契約締結のお知らせ

2018年10月以降マニラ国際空港で、Wifiインターネット接続サービスを、空港利用者向けに提供します。固定回線によるサービス提供が主力の、地方のケーブルテレビ事業者向けの新たなソリューションとしてWifiサービスを開発。

今回は、実証実験。デジタルサイネージを使ったWifi基地局は、既に米国ニューヨークで商用化され、中国電信（チャイナテレコム）も中国各地に設置しているタイプのものですが、フィリピンでは初めてのものとなります。



在留外国人向け人材関連事業拡大のため、 他の在留外国人コミュニティ向け情報提供企業との提携を進める

東南アジア
ベトナム
インドネシア
ミャンマー

南アジア
ネパール
スリランカ

南米
ブラジル
ペルー

ジョブフェア（集団就職面接会）の共同開催・求人広告の相互配信など

参考：2017年12月末現在 在留外国人数

国名	在留者数	国名	在留者数	国名	在留者数
中国	730,890	ネパール	80,038	ペルー	47,972
韓国	450,663	台湾	56,724	インド	31,689
ベトナム	262,405	米国	55,713	朝鮮	30,859
フィリピン	260,553	タイ	50,179	スリランカ	23,348
ブラジル	191,362	インドネシア	49,982	ミャンマー	22,519

出所 2018年6月 法務省
在留外国人統計

定評のあるホスピタリティを強みとした人材ビジネス展開

フィリピンから海外への出稼ぎ者数（新規許可件数）

フィリピンから家事代行を目的とする入国が認められ、特区も拡大中。
ただ今後の外国人受け入れには、課題も多くあります。

フィリピンは英語が公用語。
日本語は、ハンディ

英語教育に向くとといった理由
で、中国の富裕層が雇い始
め、人材不足気味

コンプライアンスやCSRの観点
からすると、地方で募集から出
国までのプロセスにリスクがあ
る
(特に技能実習生)

そうした中、当社グループは、以前より我国へのフィリピン人の送り出しにつきまして、フィリピンの所管官庁と協議を行っております。ただ当然コンプライアンス・新興国でのあるべき企業活動といったことも重視すべきであり、現在適正なプロセスで送り出しを行うための手法の構築を検討しております。

今のところ、国内にいるフィリピン人から探すほうが現実的であると考えております。
(言語・習慣の理解)
当社では、介護施設のほか、保育施設、家事代行事業者に多くの人材を紹介しております。

- ▶ 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ▶ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ▶ 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ▶ 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

《IRに関するお問い合わせ先》

株式会社 アイ・ピー・エス

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1

東劇ビル8階 IR室

TEL: 03-3549-7719

Email: ir@ipsism.co.jp